

## 令和5年第4回東北町議会定例会会議録

令和5年12月5日（火曜日）午前10時00分開議

### ○議事日程（第2号）

#### 日程第1 一般質問

---

本日の会議に付した事件

#### 日程第1 一般質問

---

### ○議長（岡山粕男君） 日程第1、一般質問を行います。

一般質問の通告は4名であります。

通告順に発言を許します。

5番、蛭名竜也議員は、一問一答方式による一般質問です。蛭名竜也議員の発言を許します。

〔5番 蛭名竜也君登壇〕

### ○5番（蛭名竜也君） おはようございます。5番、蛭名竜也です。

質問に入る前に一言申し上げます。今年は暖冬との予報でしたが、11月末に入り寒い日が続き、外はすっかり雪景色になったわけですが、今週は比較的暖かい日が続くと予報です。あまり雪が降らないでと願っている者の一人でございます。

さて、今年も残すところ僅かになってきましたが、インフルエンザ等が流行しているとのことですので、皆様も健康に留意し、新年を迎えましょう。

それでは、12月定例会、トップバッターで一般質問させていただきます。私から、大枠で2点の事項について質問させていただきます。

まず、1点目の質問といたしまして、町内に布設の水道本管、石綿セメント管の老朽化に伴う更新について伺います。水道事業は、町民にとって必要不可欠なライフラインだと思います。蛇口をひねると普通に水が出るという生活に慣れている私たちが、一たび水が出ない事態に陥ると、非常に不便さを感じると思います。町は、安心安全な水道の提供をしなければならないと思

っております。

そこで、（１）として、水道本管の老朽化が進んでいると思いますが、布設からの経過年数と漏水等での修繕状況についてお伺いします。

また、（２）として、水道本管、石綿セメント管の更新計画の状況をお伺いします。

次に、２点目の質問といたしまして、小川原湖の水質悪化傾向に対しての町としての対応についてお伺いいたします。10月30日付の新聞報道に小川原湖の水質悪化との記事が掲載されました。記事を読み、そこまで水質が悪化しているのかとショックを受けたと記憶しています。

そこで、（１）として、小川原湖の水質検査の状況についてお伺いいたします。

また、（２）として、小川原湖に流入している河川についてお伺いします。

以上、答弁のほどよろしくお願いたします。

○議長（岡山粕男君） 町長。

〔町長 長久保耕治君登壇〕

○町長（長久保耕治君） 皆さん、改めましておはようございます。それでは、5番、蛭名竜也議員のご質問にお答えをいたします。

一般質問通告のありました質問事項1の町内の布設の水道本管、石綿セメント管の老朽化に伴う更新についてお答えをいたします。質問要旨の1点目、水道本管の老朽化が進んでいると思いますが、布設からの経過年数、漏水での修繕状況をお伺いしますについてであります。当町の水道事業は両地区とも昭和39年に認可を受け、事業を開始し、東北地区は昭和40年1月に、上北地区は昭和41年12月に給水を始めており、最も古い水道管は布設から約60年程度経過しているものも考えられます。

また、近年の漏水事故の修繕状況は、令和3年度が31件、令和4年度が24件、そして今年度は4月から10月までの7か月間で37件発生しております。また、そのうち約8割程度が老朽管、いわゆる石綿セメント管からの漏水となっております。

次に、質問要旨の2点目、水道本管、石綿セメント管の更新計画の状況をお伺いいたしますについてであります。現在、完了年次等を明記した具体的な

更新計画は定めておりませんが、全国的にも問題となっている水道本管の老朽化に伴う更新事業については、平成30年度より事業を開始し、今年度実施中の工事を含めると総事業費約3億3,790万円で、その延長は約2.54キロとなっております。

質問事項2の小川原湖の水質悪化傾向に対しての町としての対応についてお答えをいたします。質問要旨の1点目、小川原湖の水質検査の状況についてお伺いしますについてであります。水質検査は国、県、町の3者がそれぞれ定期的に行っており、その中で先般新聞報道でもあった水の汚れ具合を示す化学的酸素要求量、これはCODというふうな値ですが、この値は近年継続して環境基準値を超過している状況にあります。

質問要旨の2点目、小川原湖に流入している河川についてお伺いしますについてであります。小川原湖への流入河川としては、七戸川、土場川、砂土路川、姉沼川など、大小20余りの河川があり、流域は当町を含め県内7市町村にまたがる大変大きな流域面積を誇っております。

以上、答弁といたします。

○議長（岡山粕男君） 蛭名竜也議員。

○5番（蛭名竜也君） 答弁ありがとうございました。それでは、再質問をしたいと思います。

まず、質問事項1の水道のほうですけれども、漏水件数については過去2年に比べ、今年度は7か月間で既に過去2年の発生件数を上回っているようですが、例えば修繕工事に関わる工事費についてはどの程度かかっているのかをお知らせください。

○議長（岡山粕男君） 上下水道課長。

○上下水道課長（天間 一君） それではお答えをいたします。

漏水工事の修繕費の推移についてですが、修繕工事金額につきましては、令和3年度が1,478万円、令和4年度は1,052万円、令和5年度が10月末現在で約1,493万円となっており、先ほどの件数と同様に、うち8割程度が老朽管からの漏水であります。

また、漏水工事1件当たりの平均的な工事金額については、約45万円程度かかっております。

○議長（岡山粕男君） 蛭名竜也議員。

○5番（蛭名竜也君） これは、この金額は埋設管だけですか。例えば古い町内で持っている町の施設の中に入っている管も、それは含まれているのですか。

○議長（岡山粕男君） 上下水道課長。

○上下水道課長（天間 一君） お答えをいたします。

先ほどの金額は、水道本管並びに関連する毎戸給水管、道路に漏水しているのを調査した結果、結果的に毎戸の給水管であったりとかというのがありますが、個人の宅地内に入るまでの部分につきましては、町のほうで工事を行っているような状況でございます。

また、一部個人宅に入っている部分での漏水があった場合については、個人にお願いをして修繕をしていただいているところでございます。

以上です。

○議長（岡山粕男君） 蛭名竜也議員。

○5番（蛭名竜也君） 大変な金額がやっぱりかかっているものですね。この昨今の件数、工事金額を考えれば、老朽管更新工事と今後加速的に進める必要があるように考えますが、次の質問と一部内容を重複しますので、1点目は以上とさせていただきます。

続けて、これまでの状況と現状については、先ほど答弁いただいたので、大変よく分かりました。しかし、今後更新計画を加速化させる点については、財源の確保をはじめ、たくさんの課題が山積しているようですが、しっかりと予算と、また人員の確保をしてほしいと思いますが、その辺は町長、どういうお考えでしょうか。

○議長（岡山粕男君） 町長。

○町長（長久保耕治君） 蛭名議員にお答えをいたします。

もちろん人員の確保、これは大変大事なことだと思いますし、町の水道業者の方々おられます。そういった方々と様々担当課と相談をしながらやっていかなくってはなりませんし、また水道事業、上水道、これから下水道もそうなのですが、公営企業会計になるということで、いろいろと加速度的に進めていくためには、町からの繰出金が大変多くなっていくと思います。そういった意味では、今広域化の事業という部分もありまして、そういったものが県のほうから

提案もされております。そういった部分の中では、国の交付金もあるようですので、しっかり調べた上で、そういったのがしっかり活用できるかどうかというのでも検討しながら進めてまいりたいと思っております。

以上でございます。

○議長（岡山粕男君） 蛭名竜也議員。

○5番（蛭名竜也君） 町長おっしゃるとおり、近隣市町村や県とも一体となり、国をはじめとする関係機関への働きかけを進めていただけるよう要望します。それで質問事項1としては終わりたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

続けて、質問事項2の小川原湖の水質悪化検査、悪化傾向について町としての対応についての再質問に移りたいと思います。先ほど答弁いただいた中に、化学的酸素要求量、CODとありましたが、なかなか耳にしない言葉だと思うので、もう少し上かみ砕いて教えてほしいと思います。

○議長（岡山粕男君） 保健衛生課長。

○保健衛生課長（萌出大樹君） お答えいたします。

化学的酸素要求量、CODについては、湖や海における有機物による汚れの度合いを示す指標とされております。この数値が高い状態が続くと、水生生物層が貧弱になり、魚類などが生息しづらくなるとされております。

○議長（岡山粕男君） 蛭名竜也議員。

○5番（蛭名竜也君） 水が汚れて魚が生育しづらくなるとなれば、漁獲量にも影響が出てくると思いますが、近年の小川原湖の漁獲量はどのように推移しているか教えてください。

○議長（岡山粕男君） 農林水産課長。

○農林水産課長（佐久間好礼君） お答えいたします。

漁獲量につきましては、様々な要因が関係しておりますので、一概に先ほどお話がありました化学的酸素要求量、CODの影響だと断定することは難しいですけれども、直近の令和4年の漁獲量につきましては108万881キログラムとなっております。これは約10年前の平成25年と比較しますと4割減少しております。

以上です。

- 議長（岡山粕男君） 蛭名竜也議員。
- 5番（蛭名竜也君） やっぱり大変減っているのですね。この漁獲量には、シジミガイも含まれているのですか、もう一度教えてください。
- 議長（岡山粕男君） 農林水産課長。
- 農林水産課長（佐久間好礼君） 含まれております。
- 議長（岡山粕男君） 蛭名竜也議員。
- 5番（蛭名竜也君） 確かに漁獲量は、様々な要因が関係していると思いますが、やはり水質というのは非常に大きな要素だと思います。実際に漁獲量は減少しているということですが、小川原湖は皆さんがご存じのとおり宝沼と呼ばれております。豊富な水産資源が失われれば、漁業者や水産加工業者、そして飲食業が立ち行かなくなる非常に大きな問題です。小川原湖には、小川原湖内、また流入してくる外の問題もあると思いますが、例えば小川原湖の中で町として何か対策を取っているのであればお教え願いたいと思います。
- 議長（岡山粕男君） 町長。
- 町長（長久保耕治君） お答えをいたします。

まずもって、よく小川原湖、今蛭名議員もおっしゃったように、ある種経済活動の場であり、また町としてはもう町を代表する観光コンテンツの一つでございます。ですので、よく観光時期の前には、商工業者の方々、漁協の皆さん、様々なボランティアの方々にお手伝いをいただいて、いわゆる小川原湖の周りのクリーンデー、清掃、また漁協の方々も独自でそういった活動をしているようでございます。

もう一つとしては、これは蛭名議員も大変ご承知かと思いますが、いわゆる町の各家庭の浄化槽の設置、また下水の設置、そういったものに対する助成等も行っているところでございますし、議員の皆さん、また関係機関とともに国、県に働きかけて、いわゆる小川原湖の水環境を何とか浄化してほしいというふうな、様々な要望活動も多々行っているところでございます。

以上でございます。

- 議長（岡山粕男君） 蛭名竜也議員。
- 5番（蛭名竜也君） 小川原湖の水質に関しては、この問題を取り組んでいく上で難しいのが、やはり広域にまたがっているのだなということで、広域に

関しては何か町として働きかけをしているのかを教えてください。

○議長（岡山粕男君） 保健衛生課長。

○保健衛生課長（萌出大樹君） お答えいたします。

国、県、流域7市町村、関係団体、有識者等で作っている小川原湖流域水環境対策協議会に参加しております。

以上です。

○議長（岡山粕男君） 蛭名竜也議員。

○5番（蛭名竜也君） また、ここで小川原湖流域水環境対策協議会と今答弁がありましたけれども、その会議はどういう会議なのか、また何回くらい開かれているのかお教えてください。

○議長（岡山粕男君） 保健衛生課長。

○保健衛生課長（萌出大樹君） お答えいたします。

この協議会では、小川原湖水環境改善の行動指針をつくっていきまして、各市町村等での取組等の情報共有を図って、実際の事業については各主体で行っています。年に1回ぐらい県のほうで会合を開いております。

以上です。

○議長（岡山粕男君） 蛭名竜也議員。

○5番（蛭名竜也君） では、この会議というのは、さほどそんなにこの問題に対して強く出るとか、そういう会議ではなくて、こうしていきましょやとか、そういう優しい会議のほうになるということですか。お願いします。

○議長（岡山粕男君） 保健衛生課長。

○保健衛生課長（萌出大樹君） 様々な町でやっているのを情報共有していますが、けれども、おっしゃるとおりだと思います。

以上です。

○議長（岡山粕男君） 蛭名竜也議員。

○5番（蛭名竜也君） いや、今ちょっと優しい会議というのはちょっとあんまりよくないと思うのです。流れてくるばかりの、小川原湖ですので、その小川原湖に対して強く意見を言えるのはやっぱり東北町だと思いますので、この問題を取り組んでいく上で、先ほど答弁いただいた流域7市町村にまたがっているということです。この流域7市町村に、やっぱり働きかけをもう少し強くし

ていかないとならないと思うのですけれども、町長の意見があればよろしくお願ひします。

○議長（岡山粕男君） 町長。

○町長（長久保耕治君） 蛭名議員にお答えをいたします。

蛭名議員ご指摘のとおりであると思います。今まで町も町の行政、そして皆さん議会の小川原湖環境保全対策特別委員会並びに関係機関の筆頭であります小川原湖漁協さんとともに国、県に働きかけをしてまいりました。先ほど担当課長がお話したことはちょっと別な動きになるかもしれませんが、独自で、東北町にとって小川原湖というのは本当に宝の湖である、そういった思いで国、県に働きかけることによって、国では養浜工の増設、そして皆さんもご承知だと思いますが、七戸川の河口の砂州の除去、さらには砂土路川、これ実は一番汚染が激しいのではないかとされている砂土路川の入り口、小川原湖の入り口へのベッドランド、いわゆるろ過装置のようなものの完成、さらには今までずっと試験的にモニタリングをしていた覆砂を今年度から本格的に始めて、なおかつ11月の国の補正で、当初の3億7,000万に新たに3億2,000万を追加していただきました。そういったことを含めて、加速度的に小川原湖の水環境の改善というものを進めてまいりたいと思っております。

さらに、現在気象変動によって各地域、どちらかという水環境よりも砂防治水、いわゆる洪水に対するものであったり、氾濫に対する、そういった予算取りが多くなっている中で、この水環境の整備というものに対する意識が絶対薄れないようにということで、私も様々な治水砂防の会議には足を運ばせていただいて、常に声高に小川原湖の水環境の整備を訴えているところでございます。

そういった中で、県でも七戸川の、皆さんご承知の方も多いと思うのですが、七戸川のいわゆる川べりの雑木の除去も県のほうが進行を進めているということで、大分きれいになってきているのかなというふうにも思っています。本当に自然環境の保全と人間の経済活動を両立していくということは、大変難しい部分があるなというふうに思っています。しかしながら、町としてできること、国、県に働きかけること、さらにはしっかりまずは今蛭名議員がおっしゃったようなこの7市町村、とりわけ例えば漁業権を持っている方が多かったです。

する、小川原湖を取り囲んでいる市町村が3つございます。その3つから始め、いろいろなデータ取りをしながら、ではその中心になっている町村の内部で、こういった水質改善のための取組が図られているかということをもとに、まずしっかりまとめながら、ほかの市町村にもそういった効果を波及していければなというふうに考えておりますので、ご理解いただきたいと思います。

以上です。

○議長（岡山粕男君） 蛭名竜也議員。

○5番（蛭名竜也君） 今答弁の中に、砂土路川が汚れているとありましたけれども、流入している河川自体はそういう水質の検査というのもしているのですか。それをちょっと教えてください。

○議長（岡山粕男君） 保健衛生課長。

○保健衛生課長（萌出大樹君） 流入河川についても水質調査は実施しています。

以上です。

○議長（岡山粕男君） 蛭名竜也議員。

○5番（蛭名竜也君） 検査をしているということですが、その検査結果等は私たちも何かホームページに載っているとか、そういうのは見れるものなのですか。

○議長（岡山粕男君） 保健衛生課長。

○保健衛生課長（萌出大樹君） こちらについては、青森県の県庁ホームページから入っていくことができます。

以上です。

○議長（岡山粕男君） 蛭名竜也議員。

○5番（蛭名竜也君） いろいろ町もしているのだよということはよく分かりました。この事実を受け止め、小川原湖の水質環境や、関係事業者の生活やなりわい、実際漁業で生計を立てている方もいらっしゃいます。そして、私たちの地域の食文化を守っていくためにも、もちろん我々東北町もしっかりと取り組んでいかないといけないと思います。県、国、関係市町村にも強く協力を呼びかけていく必要があると思いますが、町長からこの問題に取り組む意気込みを先ほどもらいましたけれども、最後にもう一度よろしく願いいたします。

○議長（岡山粕男君） 町長。

○町長（長久保耕治君） お答えをいたします。

先ほどは議員のほうからもいろいろお話がありましたので、総じてお話をさせていただくと、やはり大きな観光資源、そして経済、なりわいの大切なものであると思っております。なおかつ、今そういった私たちが恩恵を得ることができるのは、やっぱり先人たちがしっかり小川原湖の環境を守ってきたということの土台の上に成り立っていると思います。この土台を我々の代で崩すわけにはいかない。ですので、いろいろな働きかけをしながら、また関係町村にも波及できるような取組を今後加速的に進めてまいりながら、議員の皆さんからのお力添えもいただきながら、よりしっかりした取組を行い、後世にしっかりバトンタッチしていけるように努力してまいりたいと思いますので、蛭名議員もぜひともご協力をよろしくお願いいたします。

以上です。

○議長（岡山粕男君） 蛭名竜也議員。

○5番（蛭名竜也君） そのように本当にしっかりとした気持ちを持って、近隣市町村にも呼びかけて、また国、県にも呼びかけてほしいと思います。その辺の協力は、私たち議員もすると思いますので、よろしく願いして質問を終わりたいと思います。大変ありがとうございました。

○議長（岡山粕男君） これで5番、蛭名竜也議員の一般質問を終わります。